

# 空気弁ボックス仕様書

## 1. 適用範囲

この仕様書は、佐久水道企業団が使用する空気弁鉄蓋及び下柵について規定する。

## 2. 鉄蓋

### 2.1 種類

鉄蓋の荷重使用は T-25 とする。

### 2.2 構造及び形状

鉄蓋の構造及び形状は、JSWAS G-4(下水道用鑄鉄製マンホールふた規格)によるものとし、以下の構造を有するものとする。

- a) 円形 4 号(内径  $\phi$  600) とする。
- b) 蓋の表面には、視認性を向上させるためのカラー標示ができる構造であること。
- c) 蓋と受枠との接触面は、機械加工して急勾配受けとし、蓋のがたつきを防止できる構造であること。
- d) 蓋は、雨水及び土砂の流入を極力防止するため、閉塞蓋を取付けた構造であること。
- e) 蓋と受枠とは、蓋の逸脱防止のため蝶番にて連結できる構造とし、蓋は  $180^\circ$  垂直転回及び  $360^\circ$  水平転回が可能であること。
- f) 蝶番は、雨水及び土砂の流入が防止出来る様、蓋裏取付け構造とし、蓋と受枠との着脱が可能であること。
- g) 受枠のフランジは、下柵の上部壁と、ボルトにて緊結できる構造であること。ボルトは、JIS B0205 及び JIS B0209 に規定する M16 を標準とする。
- h) 企業団が指定する場所に開閉穴を設け、開閉専用器具に合わせた自動錠を蓋に取付けた構造とする。
- i) 内圧開放時に車両等の通過に際して安全な構造であるとともに、破損、変形、錠の解除がない構造とすること。
- j) 受枠は除雪対応型とすること。

### 2.3 性能

- a) 荷重の強さ

試験の種類	呼び	種類	試験荷重(kN)	たわみ(mm)	残留たわみ(mm)
荷重たわみ試験	600	T-25	210	2.2 以下	0.1 以下
耐荷重試験			700	割れ又はひびのないこと	

- b) その他

JSWAS G-4(下水道用鑄鉄製マンホールふた規格)によるものとする。

### 2.4 施工

- a) 鉄蓋の施工(高さ調整)部材は、アンカーボルトの締付け過ぎによる受枠の変形を防止する性能を有すること。
- b) 鉄蓋の施工は、調整部の耐久性を確保するため、高流動性、超早強性、無収縮を有する調整部材を用いて行うこと。

### 3. レジンコンクリート下柵

#### 3.1 種類

JWWA K148(水道用レジンコンクリート製下柵)に準拠し、T-25 対応とする。

#### 3.2 構造及び形状

- a) 円形4号(内径φ600)とする。
- b) レジンコンクリートの品質は下記圧縮強度及び吸水率を満たすこと。

品質	圧縮強度 [MPa]	吸水率 [%]
規格値	90 以上	±0.3 以内

#### 3.3 性能

JWWA K 148(水道用レジンコンクリート製下柵)に準拠し、軸方向耐荷重性は 150kN の試験荷重に対し、割れ又はひびがないこと。

### 4. 設置例

